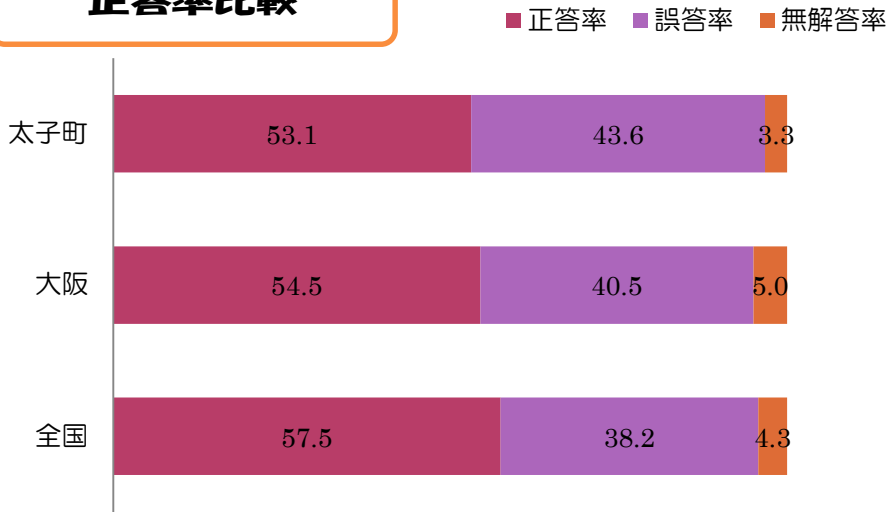


平成29年度 全国学力・学習状況調査

国語 B

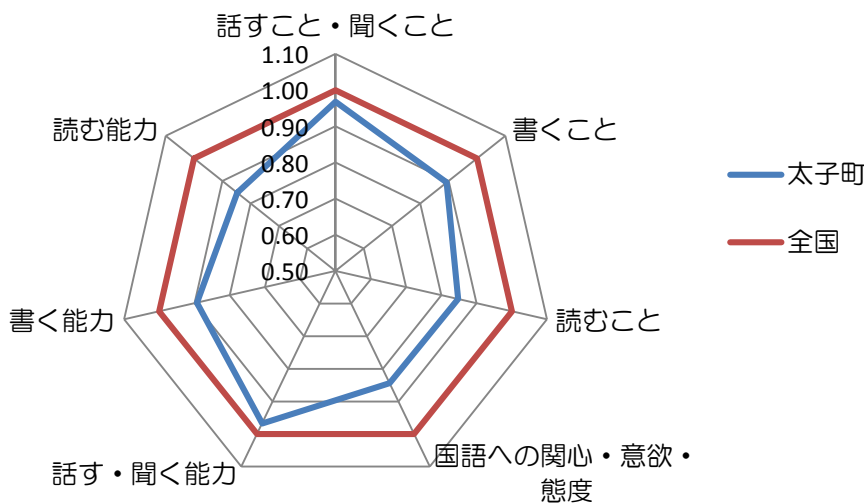
正答率比較



全国の平均正答率が、57.5%であるのに対し、太子町の平均正答率は、53.1%であり、4.4ポイント下回った。大阪府平均も下回っている。

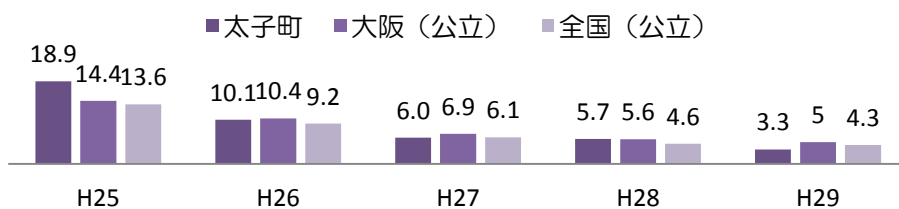


全国平均正答率を「1」としたときの大阪府・太子町の平均正答率との比較



全項目において全国平均に届かなかった。特に「読むこと・書くこと」においては大きな差が開き改善が必要である。自分の考えを述べる問題では正答率が低く、無回答率も高くなる傾向がある。

無解答率



無解答率は、全国平均を下回る結果であった。書こうとする姿勢は大切だが今後は書く内容について考えを深める必要がある。



成果と課題

ここ数年「読むこと」に関して課題が大きく見られる。今年も、「読むこと」を通じて自分の考えをまとめる問題で正答率が低かった。「内容を理解する力」と、物語を読んだ後に自分はどのように考えたのか「意見をまとめる力」をつける必要がある。作文や日記をつけるなど、「書くこと」につながる活動を定着させる必要がある。

